

## 広島国際大学看護学ジャーナル投稿規程

1. 本誌の名称は「広島国際大学看護学ジャーナル」とし、原則として年1回発行する。
2. 本誌を発行する目的は次のとおりとする。
  - 1) 看護学の学術的な発展に寄与する。
  - 2) 学部内に共通の研究発表の場を提供するとともに、専攻を超えた学際的共同研究活動を促進する。
  - 3) 論文発表の機会を提供する。特に、若手教員および大学院生に論文をまとめる経験の場を提供する。
  - 4) 広島国際大学看護学部、大学院看護学研究科、および助産学専攻科の研究・教育活動に関する外部への情報発信を行う。
3. 掲載される原稿は次のとおりとする。
  - 1) 総説：看護学や医療に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。
  - 2) 原著論文：研究論文のうち、研究そのものが独創的で新しい知見が論理的に示されており、看護学や医療の知識として意義が明らかであるもの。
  - 3) 研究報告：内容・論文形式において原著論文には及ばないが、研究結果の意義が大きく、看護学や医療の発展に寄与すると認められるもの。
  - 4) 実践報告：医療等の現場や教育現場での実践報告で、発表の価値が認められるもの。
  - 5) 資料：調査や事例から得られたデータをまとめ、資料的価値が高く、編集委員会が適当と認めたもの。
  - 6) その他：公開講座や講演会の報告など、編集委員会が適当と認めたもの。
4. 投稿資格
 

広島国際大学看護学部、大学院看護学研究科、および助産学専攻科の教員・大学院生・専攻科学生・本学修了／卒業生、および本学に関連する研究者
5. 原稿の審査
  - 1) 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会が依頼した2名の査読者による審査をもとに決定する。なお、査読を実施するのは原則として総説・原著論文・研究報告・実践報告であり、資料はその内容によって編集委員会で判断する。
  - 2) 査読は、原則として2回まで実施する。
  - 3) 論文の内容により必要に応じて学部外の専門家に査読を依頼することもある。
  - 4) 採用に際し、原稿の種類の変更を求めることがある。
  - 5) 倫理上問題となるものは採用しない。
6. 執筆要項
  - 1) 原稿の書式
    - (1) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の文字数とする。
 

	和文	英文		和文	英文
総説	12,000字以内	4000 Words	実践報告	12,000字以内	4000 Words
原著論文	16,000字以内	5000 Words	資料	12,000字以内	4000 Words
研究報告	12,000字以内	4000 Words	その他	12,000字以内	4000 Words
    - (2) 原稿は和文または英文とし、ワードプロセッサにより和文はMS明朝、英語はCenturyの書体を用いて作成する。
    - (3) 本文においては、記号、数字、英語は半角入力とし、コンマとピリオドは全角入力とする。

- (4) A4 版 1 ページに和文の場合 40 字 × 30 行, 英文の場合はダブルスペースで作成する.
- (5) 単位および単位記号は, 国際単位制度に従うものとする.

## 2) 原稿の様式

### (1) 表紙

- ①原稿には表紙を付け, 表題, 著者名, 所属, 5 語以内の keywords をいずれも和文, 英文で記載する.
- ②英文表題は, 文頭のみ大文字とする.
- ③サブタイトルは, 前後にー を付ける.

### (2) 論文要旨

- ①総説・原著の場合, 和文 400 字以内で表記し, 原著論文のみ英文要旨を 250 words で表記する.
- ②研究報告・実践報告・資料・その他は, 和文要旨 250 字以内で表記し, 英文要旨は不要である.
- ③要旨の形式として, 原著論文・研究報告は, 背景, 目的, 方法, 結果, 結論の順番で文章を構成する. 総説・実践報告・資料・その他については, その限りではない.

### (3) 本文

- ①本文の形式として, 原著論文・研究報告は原則として, 背景 (はじめに), 目的, 方法, 結果, 考察, 結論, 文献の順番で文章を構成する. 総説・実践報告・資料・その他については, その限りではない.
- ②章, 節, 項などをもうける場合は, 原則として以下に従うものとし, インデントは下けない.

#### I. 1. 1) (1) ①

なお, この中で (1) のみ半角とする.

- ③結論のみは, 一文字分本文のインデントを下げるなど見やすいよう工夫する.
- ④文中の引用方法は, 『ハーバード方式』(著者名・発行年方式) とする.  
例: ～～が明らかにされている (七田ら, 2014).  
例: 小笠原ら (2016) は, ～～と述べており, . . .
- ⑤書籍の場合は, ページ数を入れる.  
例: ～～と明らかにされている (阪本ら, 2015, p.51).

### (4) 図, 表および写真

- ①図, 表および写真は, 図 1, 表 1, 写真 1 など通し番号をつけ, 投稿時には本文とは別に一括する.
- ②挿入希望位置は, 原稿右詰欄外にそれぞれ朱書きする.
- ③図, 表には, タイトルを付ける. なお写真のタイトルは, 必要に応じて判断する.
- ④サイズの目安は, A4 用紙 1 ページ分: 3000 文字とする.

## 3) 引用文献の記載方法

- (1) 著者は筆頭者から 3 名までとし, それ以上は和文では「他」, 英文では“et al”として省略する.
- (2) 記号, 数字, 英語は半角入力 (ただし, コンマとピリオドは除く) とする.
- (3) 記載の順番は, 筆頭著者のアルファベット順とする.
- (4) 各文献の記載例は以下に示す. 見やすいように 2 行目からは 1 文字分下げる.

### ①雑誌掲載論文

宇野真由美, 阪本恵子, 小笠原知枝, 他 (2017). 静脈注射実施過程における指差呼称の効果, 医療の質・安全学会誌, 2(2), 157-165.

②編集された書籍の論文あるいは章（雑誌掲載以外の論文）

東優子 (2000). ジェンダー指向をめぐる医療と社会, 原ひろ子, 根村直美 (編), 健康とジェンダー, 205-223. 明石書店, 東京.

③単行本

保坂隆 (1996). 精神医学へのアプローチ, 南江堂, 東京.

④翻訳書

Gergen, K. J. (1994, *Realities and Relationships: Soundings in social construction*) / 永田素彦, 深尾誠 (2004). 社会構成主義の理論と実践—関係性が現実をつくる. ナカニシヤ出版, 京都.

⑤電子資料

【政府機関や民間組織の文書】

文部科学省, 厚生労働省 (2016). 疫学研究に関する倫理指針, 2017年4月18日引用 <http://www.mext.go.jp/shinkou/seimei/epidemiological/0412280.htm>.

⑥英語文献

Hohashi, N., Sakamoto, K., & Honda, J. (2011). Family functioning of child-rearing Japanese families on family-accompanied work assignments in Hong Kong. *Journal of Family Nursing*, 17(4), 485-510.

7. 原稿の提出

- 1) 原稿の提出期限は, 編集委員会で決定して通知する.
- 2) 英文 (抄録, 本文とも) に関しては, ネイティブチェックを受けることを原則とする.
- 3) 和文の原著は英文抄録が必要であるが, 提出は和文査読終了後とする.
- 4) 原稿 (表紙, 図, 表を含む) は正1部, 副2部を添えて提出する. 副2部については, 氏名等執筆者を特定できる情報を消去したものを提出する.
- 5) 原稿の提出先は, 広島国際大学看護学ジャーナル編集委員会メールボックスとする.
- 6) 郵送の場合は, 封筒の表に「広島国際大学看護学ジャーナル投稿原稿」と朱書きし, 下記に郵送する.

〒737-0112 広島県呉市広古新開 5-1-1

広島国際大学看護学部内「看護学ジャーナル」編集委員会 宛

8. 校正

- 1) 著者校正は原則として2回のみとする.
- 2) 著者校正時の大幅な加筆訂正は認めない.
- 3) 最後の著者校正終了後には, A4サイズにプリントアウトした最終原稿1部とUSBメモリを添えて編集委員会メールボックスに提出する.

9. 別刷り, カラー印刷は有料のこともありうる.

付則: この規程は, 2019年4月1日より施行する.

## 編集後記

広島国際大学看護学ジャーナル第16巻第1号をお届けします。本号は、研究報告4編、資料1編、その他1編で構成されています。

2018年7月、西日本各地がかつてないほどの豪雨に見舞われました。被害に遭われたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

本学も東広島キャンパスへの土砂流入、呉キャンパスでの断水、周辺地域での交通網寸断などにより、学期途中での長期休講、各種予定の見直し、通勤・通学困難など、大きな影響を受けました。そのような状況下にもかかわらず、本号刊行に向け投稿および査読をしてくださった先生方に感謝いたします。

どのような災害がいつ襲ってくるかはわかりません。しかし、これまでの経験や研究から得られた知見をもとに、深刻な被害を最小限にするべく備えることはできます。本誌を通じて発信した成果が、今後の看護学と関連分野の発展に寄与し、ひいては地域のみなさまのしあわせな生活に貢献することを願っております。

(杉本 巧)

## 編集委員

委員長 秋山 智  
委員 角山 照彦、北村万由美、杉本 巧、西村みづえ  
藤井 紀子、石原 克秀、中村百合子、杉野 真紀  
杉野 美和、田山 文菜

査読者 島谷 智彦、山崎登志子、角山 照彦、下見 千恵  
浪邊 博子、木戸久美子、江口 千代、岡田 ゆみ  
二井矢清香

広島国際大学看護学ジャーナル 第16巻 第1号

2019年3月31日 発行

発行：広島国際大学看護学部

〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1